

●壁塗り

こんにちは。工藤篤子です。

今年のハンブルグの初秋は、珍しく秋晴れの日が続いています。

皆様お元気でいらっしゃいますか？

いつもお祈り、ご支援くださり、心から感謝いたします！

あと3日もしたら、私はもう日本行きの飛行機の中です。



こちらでは9月22日にハンブルグ教会主催で賛美コンサートをさせていただきました。

そのあと、翌日から思いきって、我が家の壁塗りを始めましたが、今週に至るまでけっこうたいへんな作業でした。

(写真：9月22日のコンサート（ヴェーデル自由福音教会）バイオリン：河村昭夫師)

11 壁塗り 11

順不同になってしまいますが、まずは壁塗り作業のことから説明させてください。

日本の皆さんは驚かれるかもしれませんが、ドイツでは、だいたい壁塗りは自分でします。

作業順は以下の通りです。

1. 部屋の家具、荷物を運び出します。
2. 壁をふきます。
3. サッシやサン、暖房のパイプなどに壁用のペンキがつかないように、テープ貼りをしてゆきます。窓やドアには新聞紙を貼ります。
4. 床にビニールを敷いて、壁の一番下のサッシに張り付けてゆきます。  
ここまでの準備だけでも数時間かかります。
5. ペンキがうまく付着するように、下紙を貼ってゆきます。きちんと長さ、大きさを測って切って、四角いバケツに入れた塗料を塗って刷毛で張り付けてゆきます。
6. いよいよ壁塗り。最初に隅を刷毛で塗ってゆきます。それがおわったらローラーで壁にペンキをむらなく塗りつけてゆきます。これが結構力が必要なんです。
7. 翌日、あるいは6～7時間後にもう一度塗ります。
8. 24時間経って完全に乾いたら、テープ、新聞紙、ビニールを気を付けながらはがして、家具を運びいれます。
9. 終わったら、刷毛とローラーを水で丹念に洗い落とします。

我が家は小さいアパートですが、3部屋、それとトイレがあるので、全部終わるのに一週間以上かかりました。

まず、温暖で良いお天気を祈りました。壁がなるべく早く乾くためと、手伝ってくれる人が寒さでごごえないためです。そうしたら、本当にいいお天気が続きました。また、必要な助け手が与えられますようにと祈

りました。感謝なことに、毎日、たくさんの方が進んで手伝いに来てくれました。そして、今回の壁塗りを通して、いろいろなことを思わされました。

### 1. 準備の大切さ：

壁塗りでさえ、こんなに下準備が大変なのです。おまけに仕上がりも、いかに下準備をきちんとしたか否かにかかっているのです。もしテープ貼りが正確じゃないと、ちがうところまで塗ってしまったり、塗り足りなかったり。ビニールの四辺もきちんと床のサッシに正確に張り付けないと、じゅうたんにペンキがついてしまって、それを洗い落とすのは、それは大変！私たちの主への奉仕も同じだと思いました。まずじっくり主との時をもって主に聞き、主から学び、主により頼んでいないと、労力ばかりで、実のないものになってしまいます。

### 2. 協力して働く大切さ：

ひとりでは到底家具を運び出すことも出来なければ、下紙を貼ることさえできないのです。でもふたりだと家具を運ぶことができます。重たいものは、もっと助け手が必要です。そして、力のある者、熟練した者が集まって協力し合えば、素晴らしい仕事をすることができます。

### 3. 後始末 と ケアーの大切さ：

人を導いた後、その人にくっついて余計なテープをはがしたり、汚れをきちんと落としてあげないと、順調に霊的成長することができないと思いました。せっかく素晴らしい賜物をいただいても、主に用いられる器になるには時間がかかるときもあります。

### 4. 誠実に働く大切さ：

今回、皆、実にていねいに仕事をしてくださいました。私は一番早いのですが、一番ザツなのです。皆から、「Atsuko、時間をかけて、ていねいに塗りなさい。でないともう一度やり直さなくちゃいけないんだよ」と。注意してみると、皆は、ひと塗りひと塗り、きちんとペンキがついたかどうか確かめながらロールを回していました。小さなことに誠実に、これは私のモットーなのですが、至る所でモットーに反した行動を起こす私です。でも、小さな誠実が積み重なって、ひとつの仕事が完成されるのですよね。主への奉仕も。すべての面で誠実に、ていねいに働く者になりたいと思いました。

## ♪♪ 9月22日、ハンブルク日本人教会主催賛美コンサート ♪♪

日本人教会の皆さんがほんとうに良く準備をしてくださいました。チラシ作り、チラシ配布、案内など。もちろん、皆さんいつも祈りつつです。今回は、河村先生がバイオリン、リードゥル立子さんがピアノ、坂本さんがギター、坂本夫人がタンバリン、音響、譜めくりなどのお手伝いをしてくださいました。また通訳には、ベテランのフレドリッヒ希与子さん。その他、受付、お茶菓子の準備、ベビーシッターと、小さな群れの皆さんが、それはそれは大活躍してくださいました。日本人ばかりではなく、ドイツの方もいらっしゃいました。日本人の方はほとんどノン・クリスチャンででした。ハンブルク日本人学校の先生が6人も、そして、父兄、生徒たちもたくさん来てくださいました。最後の賛美では、「インマヌエル」と「主よあなたの名は」を一緒に賛美しましたが、少数派のドイツ語の賛美の方が圧倒的でした。

私は、「イエス様をの宣べ伝えさせてください。」と祈りつつコンサートに臨みました。後で、ドイツの方が、「日本人のためのコンサートで、ドイツ人の自分がイエス様の愛をこんなに受けることができるなんて想像もしていませんでした。ありがとう！」とおっしゃってくださいました。日本人の方からもたくさん

反響がありました。歌の生徒は、「先生は心から信じていて、喜びで一杯なんですね。私も心から歌えるようになりたい。」とっていました。

イエス・キリストは  
喜びにあふれる  
豊かな人生を私たちに与えてくださいます。MB

主が今回のコンサートを、来てくださった皆さんがイエス様の信仰に至るための、ひとつの足がかりに用いますようにと祈っています。

## A Ω お祈りください A Ω

### 1. 聖書の学びのために

Sさん、Kさんとの聖書の学びが延期、延期になり、結局、私が日本に発つ一日前、6日が最終回です。ふたりの救いのためにお祈りください。

### 2. 中国旅行のために（10月12～17日、上海、抗州）

抗州の教会にて賛美奉仕をします。中国のクリスチャンとの交わりの時が祝されますように。

### 3. 日本での賛美活動のために（秋の日本滞在：10月8日～12月29日）

### 4. 関東支援者の集い

10月18日、東京カベナント教会にて、第一回目の関東支援者の集いを開催いたします。どうぞ、知人、友人もお誘いの上、ふるってご参加ください。詳しくは以下をご覧ください。

次回のメルマガは、中国旅行と関東支援者の会が終わってから発送させていただきます。

どうぞ皆様の上に、主の大きな祝福がありますように。

日本の皆様には、じきお会いできるのを心から楽しみにしております。

主にあって

工藤篤子